

共済事業にかかる認知度等調査 結果報告

日本共済協会 企画部

はじめに

2019年度から2021年度の共済理論研究会において、共済事業にかかる情報発信を研究テーマの一部としました。

共済事業を実施する当協会の会員団体においては、従来からそれぞれの事業の特性等に応じた広報・情報発信を行ってきています。こうした情報発信や実際の事業運営を通じた組合員・利用者等との関わりの結果、組合員・利用者等を含む一般の方が、どのように協同組合共済を理解しているのか、どのような印象を持っているのか等を調査することで、共済事業における今後の情報発信を考えるための基礎資料となることを目指して、当協会として初めての意識調査を実施しました¹。

本調査の結果²に関する分析が、共済事業についての情報提供・発信を検討する際の一助となることを願っています。なお、調査項目の設定に際しては、多様な共済種類を取り扱う会員団体に共通する事項を検討し、当協会独自の内容となるように留意しました。

本稿では、第1回目の調査結果における主な内容をご紹介します。

-
- 1 本調査は、共済の加入者に限定せずに広く日本在住者を対象とし、共済と保険を合わせて質問する際には、認知度の差等による回答時のバイアスを回避するため、「保険や共済」等と表示して質問を行った。このため、調査結果報告の記述に際しては、保険・共済の順を基本とするなど質問の表示に合わせている。
 - 2 構成比の表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100にはならない場合がある。

I 調査の実施概要

1. 調査名

共済事業にかかる認知度等調査

2. 調査目的

共済事業に対する一般消費者の認知と関心を調査することをもって、共済事業が広く国民の支持を得て発展するために必要な知見を求める。

3. 調査方法

公益財団法人日本生産性本部によるインターネット調査
(楽天インサイト株式会社の所有モニターに対する調査)

4. 調査時期

2021年3月2日～3月5日

5. 調査設問

31問

＜主な調査項目＞

- ① 回答者属性（性別、年齢、職業、年収、居住都道府県など）
- ② 消費行動における価値観
- ③ 相互扶助の重要性の認識
- ④ 保険・共済における利益の使途に関する認識
- ⑤ 保険・共済との接点（情報チャネル、契約チャネル）
- ⑥ 保険・共済商品の評価、提供企業の評価、周囲からの評価等

6. 調査対象者

4,000人

※ 対象者は20～60歳代の男女（日本在住者）とし、性別、年齢別（10歳ごと）、都道府県別に、国勢調査（2015年）の人口構成比に基づき比率配分。

※ 有効回答者数3,891人（エラーチェックで109サンプルを除外）

7. 監修者

日本大学商学部教授 岡田 太

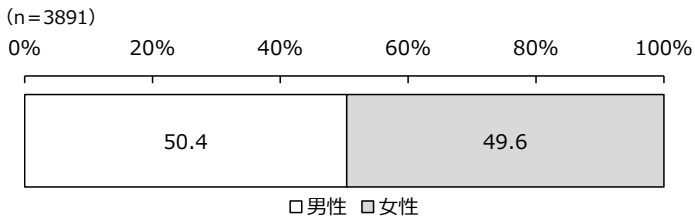
II 調査結果概要

1. 回答者の基本属性

(1) 性別

回答者の性別については、「男性」50.4%、「女性」49.6%であった。

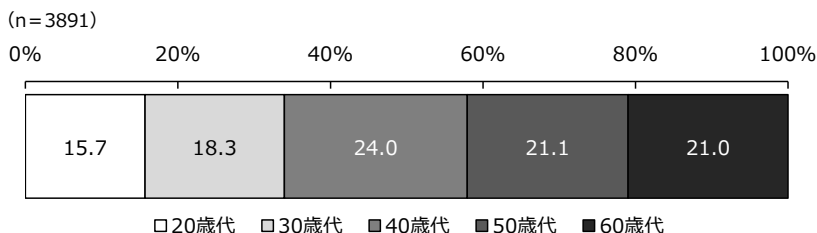
図表 II-1-1 性別



(2) 年代

回答者の年代については、「20歳代」15.7%、「30歳代」18.3%、「40歳代」24.0%、「50歳代」21.1%、「60歳代」21.0%であった。

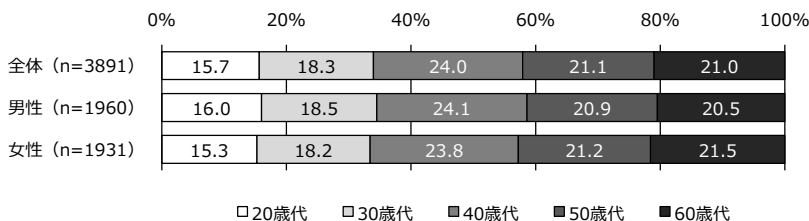
図表Ⅱ-1-2 年代別



(3) 性・年代

回答者の性・年代別構成については、「男性20歳代」16.0%、「男性30歳代」18.5%、「男性40歳代」24.1%、「男性50歳代」20.9%、「男性60歳代」20.5%、「女性20歳代」15.3%、「女性30歳代」18.2%、「女性40歳代」23.8%、「女性50歳代」21.2%、「女性60歳代」21.5%であった。

図表Ⅱ-1-3 性・年代別

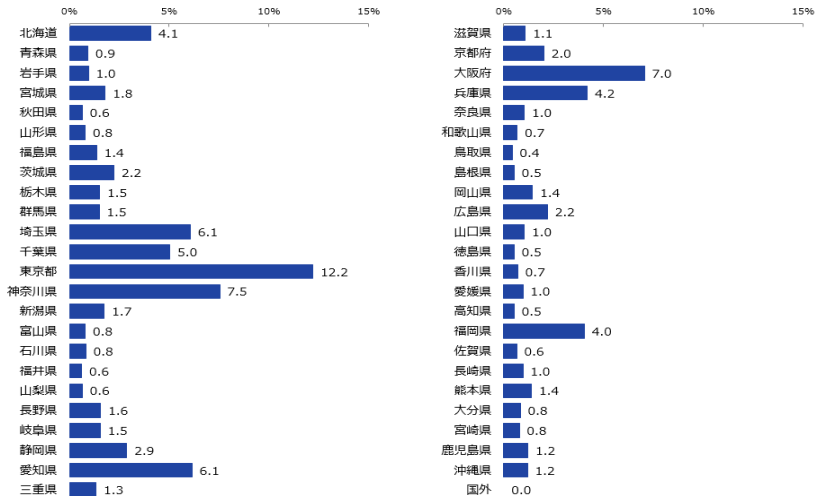


(4) 居住地

回答者の居住地については、「東京都」12.2%、「神奈川県」7.5%、「埼玉県」6.1%、「千葉県」5.0%であり、関東地方における1都3県で30.8%を占めている。また、「大阪府」7.0%、「兵庫県」4.2%、「京都府」2.0%であり、近畿地方における2府1県で13.2%であった。

図表Ⅱ-1-4 居住地

(n=3891)

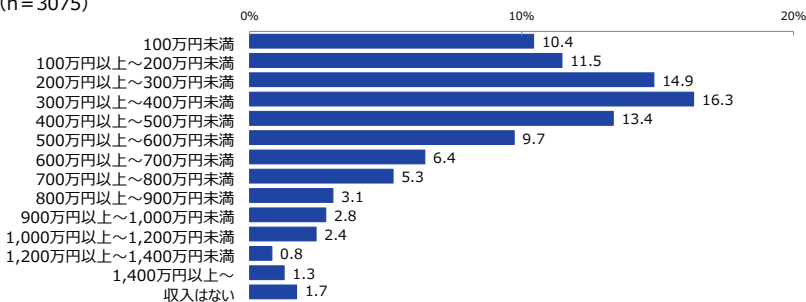


(5) 年収

回答者における年収別割合では、最も割合が高いのは「300万円以上～400万円未満」16.3%、次いで「200万円以上～300万円未満」14.9%、「400万円以上～500万円未満」13.4%、「100万円以上～200万円未満」11.5%であり、100万円以上～500万円未満の層で56.1%を占めた。

図表Ⅱ-1-5 個人年収

(n=3075)



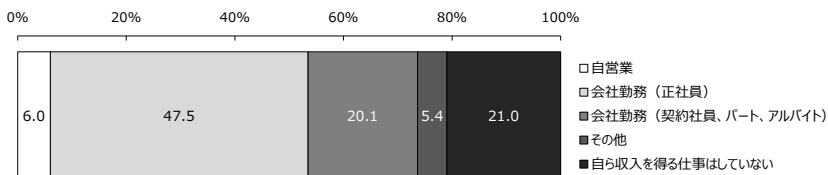
注) Q1で「自営業」「会社勤務(正社員)」「会社勤務(契約職員、パート、アルバイト)」「その他」とした方のみ

(6) 職業

回答者の職業を聞いたところ(Q1)、「自営業」6.0%、「会社勤務(正社員)」47.5%、「会社勤務(契約社員、パート、アルバイト)」20.1%、「その他」5.4%、「自ら収入を得る仕事はしていない」21.0%であった。

図表Ⅱ-1-6 職業(Q1)

(n=3891)

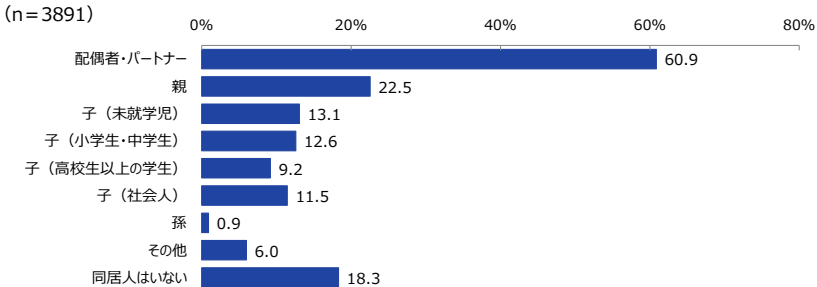


(7) 同居者

同居者について聞いたところ(Q2、複数選択)、「配偶者・パートナー」60.9%、「親」22.5%、「子(未就学児)」13.1%、「子(小学生・中学生)」12.6%、「子(高校生以上の学生)」9.2%、「子(社会人)」11.5%、「孫」0.9%、「そ

の他」6.0%、「同居人はいない」18.3%であった。

図表Ⅱ-1-7 同居者＜義理の関係含む＞（Ｑ２）



2. 共済事業に対する認知度等の現状

(1) 生活・消費スタイル

生活・消費に関する19の項目について自分にどの程度当てはまるかを、それぞれ「該当する」「やや該当する」「どちらとも言えない」「あまり該当しない」「該当しない」の5段階で選択してもらった（Ｑ３）。

「１．環境に配慮した生活を送りたい」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて56.3%、「どちらとも言えない」30.7%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると13.0%であった。

「２．自然と親しむのが好きだ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて56.4%、「どちらとも言えない」28.9%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると14.7%であった。

「３．健康管理には気をつけている方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて59.3%、「どちらとも言えない」29.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると11.7%であった。

「４．地域活動やボランティア活動に組みみたい」については、「該当す

る」「やや該当する」を合わせて19.4%、「どちらとも言えない」37.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると43.5%であった。

「5. 社会貢献に関心がある」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて27.9%、「どちらとも言えない」38.1%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると34.0%であった。

図表Ⅱ-2-1-① 生活・消費スタイル（Q3）

（単位：％）

(n=3891)		該当する	やや該当する	どちらとも言えない	あまり該当しない	該当しない
1.環境に配慮した生活を送りたい	13.2	43.1		30.7	8.7	4.3
2.自然と親しむのが好きだ	17.1	39.3		28.9	10.7	4.0
3.健康管理には気をつけている方だ	15.9	43.4		29.0	9.3	2.4
4.地域活動やボランティア活動に取り組みたい	4.1	15.3	37.0		27.3	16.2
5.社会貢献に関心がある	5.3	22.6	38.1		22.6	11.4

「6. 気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて50.9%、「どちらとも言えない」31.9%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると17.2%であった。気に入ったものがあれば半数が人に知らせるとしている。

「7. 流行に敏感な方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて22.8%、「どちらとも言えない」40.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると37.2%であった。流行に敏感であると自ら考える人は約2割であり、約4割は流行に左右されないことになる。

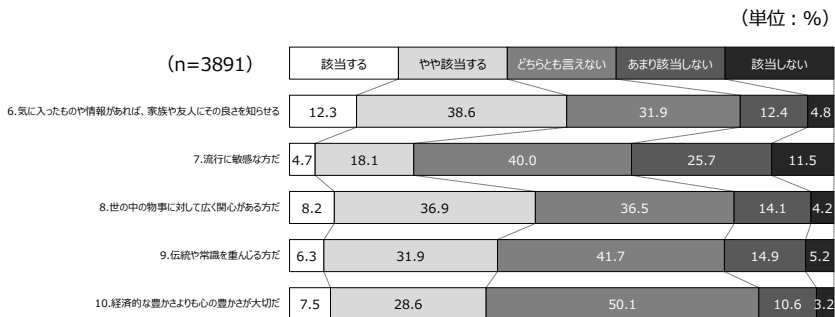
「8. 世の中の物事に対して広く関心がある方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて45.1%、「どちらとも言えない」36.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると18.3%であった。約5割は世間一

般に対して広く関心をもっていることがわかる。

「9. 伝統や常識を重んじる方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて38.2%、「どちらとも言えない」41.7%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると20.1%であった。伝統や常識を重んじる人が約4割であり、伝統・常識にとらわれない人は2割となっている。

「10. 経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて36.1%、「どちらとも言えない」50.1%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると13.8%であった。経済的な豊かさと心の豊かさのどちらを大切にするかについてどちらとも言えないが約5割であり、両者の単純な比較は難しいと考えられる。

図表Ⅱ-2-1-② 生活・消費スタイル（Q3）



「11. 多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて23.1%、「どちらとも言えない」44.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると32.4%であった。

「12. 通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて30.4%、「どちらとも言えない」42.8%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると26.8%

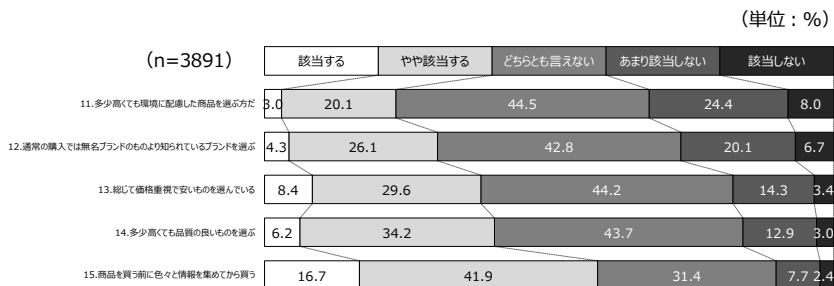
であった。約3割の人はよく知られたブランドを志向していることがわかる。また、よく知られたブランドにはこだわらない人は3割弱となっている。

「13. 総じて価格重視で安いものを選んでる」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて38.0%、「どちらとも言えない」44.2%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると17.7%であった。

「14. 多少高くても品質の良いものを選ぶ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて40.4%、「どちらとも言えない」43.7%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると15.9%であった。

「15. 商品を買う前に色々と情報を集めてから買う」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて58.6%、「どちらとも言えない」31.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると10.1%であった。商品購入前に色々と情報収集する人は6割弱であり、購買行動の前の情報収集の段階までにどのような情報を伝えているかは重要であるといえる。

図表Ⅱ-2-1-③ 生活・消費スタイル（Q3）



「16. 購入のしやすさで商品を選ぶことが多い」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて39.9%、「どちらとも言えない」45.6%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると14.5%であった。購入のしやすさを重視して商品を選ぶ人の割合は約4割となっている。

「17. 売れ筋商品を選ぶことが多い」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて35.7%、「どちらとも言えない」46.9%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると17.4%であった。「どちらとも言えない」が約5割となっている。

「18. 商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて32.4%、「どちらとも言えない」43.7%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると23.9%であった。「該当する・やや該当する」が約3割となっている。

「19. 他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて39.8%、「どちらとも言えない」46.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると13.8%であった。「該当する・やや該当する」が約4割となっている。

図表Ⅱ-2-1-④ 生活・消費スタイル（Q3）

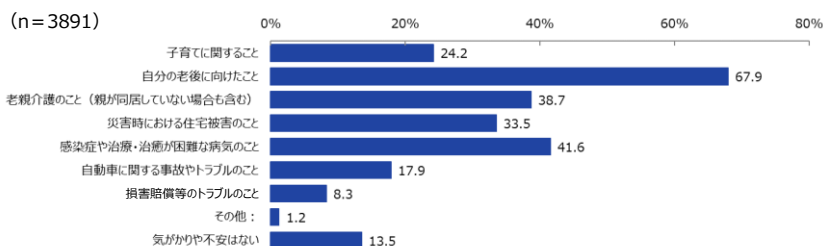
(単位：%)

(n=3891)	該当する	やや該当する	どちらとも言えない	あまり該当しない	該当しない
16. 購入のしやすさで商品を選ぶ事が多い	5.1	34.8	45.6	11.5	3.0
17. 売れ筋商品を選ぶことが多い	4.2	31.5	46.9	13.6	3.8
18. 商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ	4.6	27.8	43.7	18.1	5.8
19. 他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ	8.5	31.3	46.4	11.2	2.6

(2) 日常生活における気がかりなことや不安に思うこと

日常生活における気がかりなことや不安に思うことについて聞いたところ（Q 4、複数選択）、「自分の老後に向けたこと」が67.9%、「感染症や治療・治療が困難な病気のこと」が41.6%、「老親介護のこと（親が同居していない場合も含む）」が38.7%、「災害時における住宅被害のこと」が33.5%、「子育てに関すること」が24.2%、「自動車に関する事故やトラブルのこと」が17.9%、「損害賠償等のトラブルのこと」が8.3%、「その他」が1.2%、「気がかりや不安はない」が13.5%となった。誰しも必ず迎える老いに対しては多くの人が不安を抱いている。同様に老親介護も多くの人に降りかかる心配ごととなっている。感染症や病気への不安も誰にでも起こり得るものであり、約4割を超える高い割合を示している。

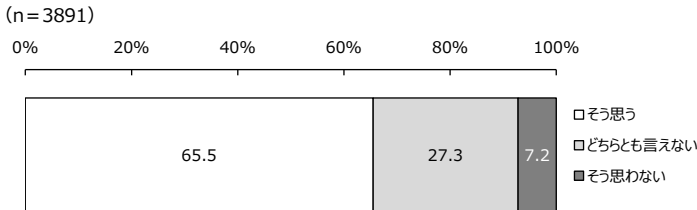
図表Ⅱ-2-2 日常生活での気がかりや不安（Q 4）



(3) 保険や共済の仕組みにみられるような助け合いの重要性

保険や共済におけるような助け合いの精神の重要性（Q 5）について、「そう思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」で聞いたところ、「そう思う」65.5%、「どちらとも言えない」27.3%、「そう思わない」7.2%であった。約7割の人が助け合いは重要だと考えている。

図表Ⅱ-2-3 助け合いの重要性（Ｑ５）

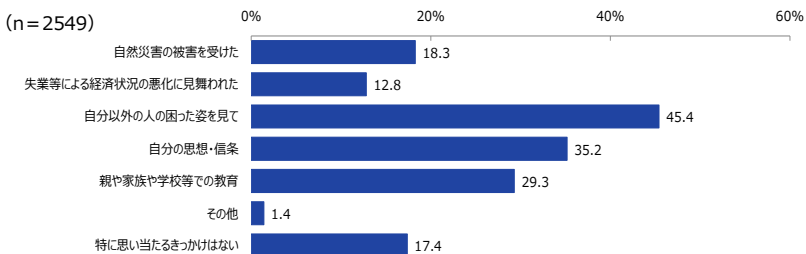


(4) 助け合いが重要だと考えたきっかけ

助け合いが重要だと考えたきっかけ（Ｑ６、複数選択）について聞いたところ、「自分以外の人の困った姿を見て」45.4%、「自分の思想・信条」35.2%、「親や家族や学校等での教育」29.3%、「自然災害の被害を受けた」18.3%、「失業等による経済状況の悪化に見舞われた」12.8%、「その他」1.4%、「特に思い当たるきっかけはない」17.4%であった。

自分以外の人の困った姿を見た経験をきっかけとする割合は最も高く、次いで思想・信条・教育が高い割合を示している。自身が災害の被害を受けたあるいは経済状況の悪化に見舞われたを回答した割合は低い、これは実際にそうした経験を持つ人の割合が低いことが考えられる。

図表Ⅱ-2-4 助け合いが重要だと考えたきっかけ（Ｑ６）

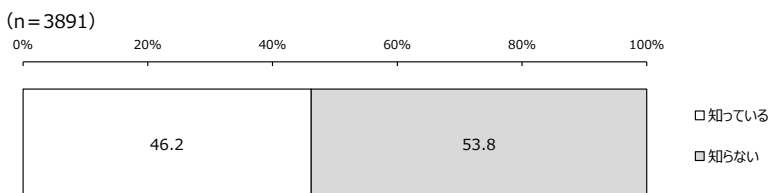


注）Ｑ５で「そう思う」とした方のみ回答

(5) 共済に加入する際に組合員であることが必要であることの認知

共済に加入する際に原則として組合員であることが必要だと知っているかどうかを聞いたところ（Q 7）、「知っている」46.2%、「知らない」53.8%であった。全体としてはおよそ半々の割合となっている。

図表Ⅱ-2-5 共済の加入には、原則として組合員であることが必要だと知っているか（Q 7）



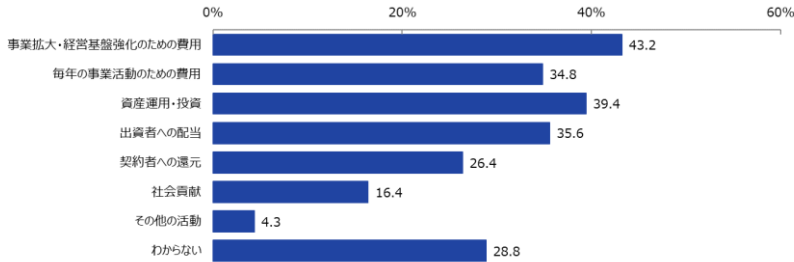
(6) 保険会社があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

保険会社があげた利益（剰余）がどのように使われていると思うかを聞いたところ（Q 8、複数選択）、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」43.2%、「資産運用・投資」39.4%、「出資者への配当」35.6%、「毎年の事業活動のための費用」34.8%、「契約者への還元」26.4%、「社会貢献」16.4%、「その他の活動」4.3%、「わからない」28.8%であった。

保険の利益使途のイメージについて最も多かったのが、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」、次いで「資産運用・投資」となっている。

図表Ⅱ-2-6 保険会社の利益使途にかかるイメージ（Ｑ８）

(n = 3891)



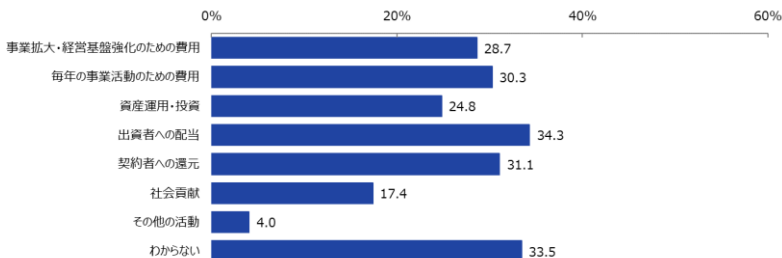
(7) 共済があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

共済があげた利益（剰余）がどのように使われていると思うかを聞いたところ（Ｑ９、複数選択）、「出資者への配当」34.3%、「契約者への還元」31.1%、「毎年の事業活動のための費用」30.3%、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」28.7%、「資産運用・投資」24.8%、「社会貢献」17.4%、「その他の活動」4.0%、「わからない」33.5%であった。

共済の利益使途のイメージについて最も多かったのが「出資者への配当」であり、次いで「わからない」「契約者への還元」となっている。

図表Ⅱ-2-7 共済の利益使途にかかるイメージ（Ｑ９）

(n = 3891)

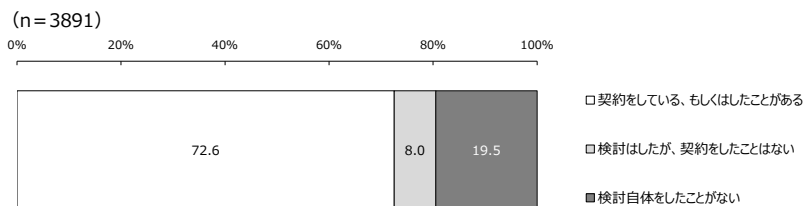


(8) 保険や共済の利用経験の有無

これまでの保険・共済の契約経験の有無を聞いたところ（Q10）、「契約をしている、もしくはしたことがある」72.6%、「検討はしたが、契約をしたことはない」8.0%、「検討自体をしたことがない」19.5%であった。

回答者の約7割は契約の経験があり、約3割は契約をしたことがないと回答している。

図表Ⅱ-2-8 保険・共済の加入経験の有無（Q10）



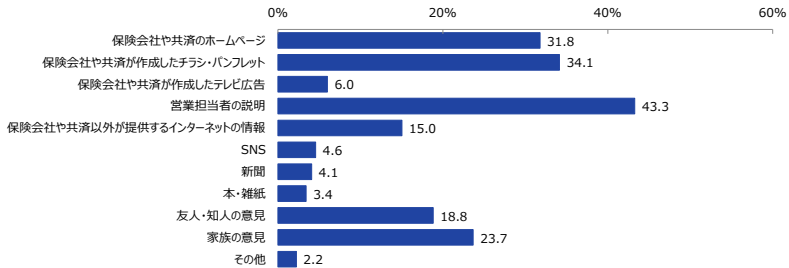
(9) 契約を検討した際に重視した情報

保険や共済の契約を検討した際に重視した情報を聞いたところ（Q11、複数選択）、「営業担当者の説明」43.3%、「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」34.1%、「保険会社や共済のホームページ」31.8%、「家族の意見」23.7%、「友人・知人の意見」18.8%、「保険会社や共済以外が提供するインターネットの情報」15.0%、「保険会社や共済が作成したテレビ広告」6.0%、「SNS」4.6%、「新聞」4.1%、「本・雑誌」3.4%、「その他」2.2%であった。

重視された上位3つは「営業担当者の説明」「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」「保険会社や共済のホームページ」であり、次いで「家族の意見」「友人・知人の意見」となっている。

図表Ⅱ-2-9 保険・共済の契約検討時に重視した情報（Q11）

(n=3134)



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

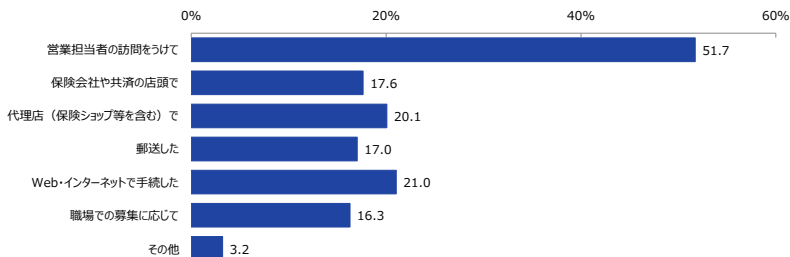
(10) これまでに保険や共済の契約をした場面

これまでに保険や共済の契約をした場面を聞いたところ(Q12、複数選択)、「営業担当者の訪問をうけて」51.7%、「Web・インターネットで手続きした」21.0%、「代理店（保険ショップ等を含む）で」20.1%、「保険会社や共済の店頭で」17.6%、「郵送した」17.0%、「職場での募集に応じて」16.3%、「その他」3.2%であった。

営業担当者の訪問をうけての割合が約5割と最も高く、次いで「Web・インターネット」「代理店（保険ショップ等を含む）」が高くなっている。

図表Ⅱ-2-10 保険・共済の契約場面（Q12）

(n=2823)



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

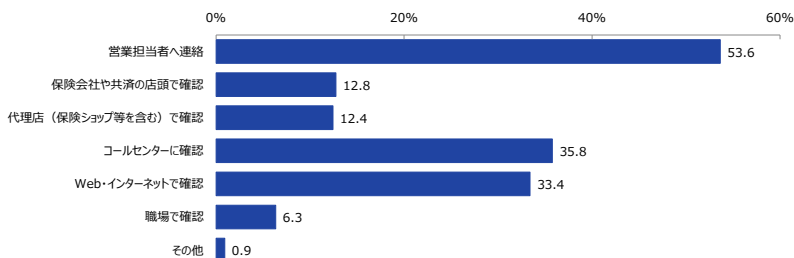
(11) 加入後の疑問の確認方法

保険や共済に加入した後に手続きや疑問が発生した場合の確認方法を聞いたところ（Q13、複数選択）、「営業担当者へ連絡」53.6%、「コールセンターに確認」35.8%、「Web・インターネットで確認」33.4%、「保険会社や共済の店頭で確認」12.8%、「代理店（保険ショップ等を含む）で確認」12.4%、「職場で確認」6.3%、「その他」0.9%であった。

「営業担当者へ連絡」が最も高くなっているが、契約した場面（Q12）で最も高いのが「営業担当者の訪問をうけて」であることの影響もあると思われる結果となっている。次いで、「コールセンター」「Web・インターネット」という、利用者側の利便性の高い方法がとられている。

図表Ⅱ-2-11 保険・共済加入後の疑問の確認方法（Q13）

(n=2823)



注）Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

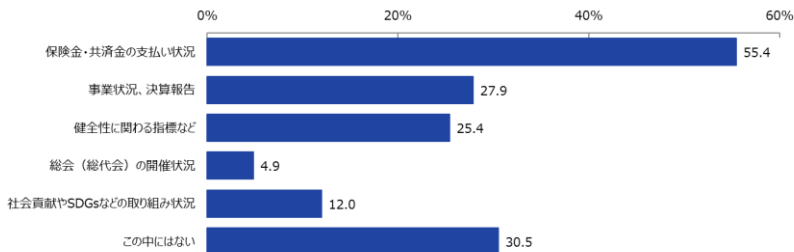
(12) 保険会社や共済について関心のある情報

保険や共済が公開している経営状況や健全性、社会貢献活動などについて関心のある情報を聞いたところ（Q14、複数選択）、「保険金・共済金の支払い状況」55.4%、「事業状況、決算報告」27.9%、「健全性に関わる指標など」25.4%、「社会貢献やSDGsなどの取り組み状況」12.0%、「総会（総代会）の開催状況」4.9%、「この中にはない」30.5%であった。

約5割が「保険金・共済金の支払い状況」に関心を持っており、次いで約3割が「事業状況、決算報告」「健全性に関わる指標など」に関心を持っている。「社会貢献やSDGsなどの取り組み状況」は約1割となっている。

図表Ⅱ-2-12 保険会社・共済が公開している情報の中で関心のあるもの
(Q14)

(n=2823)



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(13) 実際に契約している保険・共済商品への考え（最も新しい契約）

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての考えを聞いた（Q17）。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて71.6%、「どちらとも言えない」22.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると5.6%であった。実際に契約した人の約7割が生活の安心を守るのに有効と考えている。

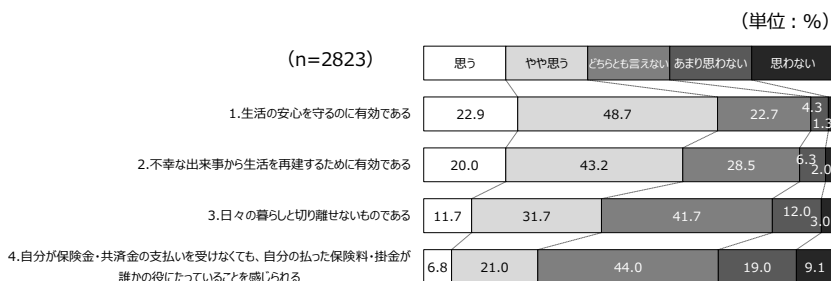
「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて63.2%、「どちらとも言えない」28.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると8.3%であった。実際に契約した人の約6割が不幸な出来事からの生活再建に有効と考えている。「生活の安心を守るのに有効」とした人が約7割であるのに比べると、約1割ほど低い結

果となっている。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて43.4%、「どちらとも言えない」41.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると15.0%であった。日々の暮らしとの密接な関連を感じている人は約4割となっている。保険・共済は、万一の危険に備えるものであるため、日々の暮らしの中でその存在を感じる機会が少ないことを表わしていると考えられる。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて27.8%、「どちらとも言えない」44.0%、「思わない」「あまり思わない」を合わせると28.1%であった。保険金・共済金の受取りという自分にとっての経済的なメリットがなくても、契約加入という自己の行為が他の契約者等に役立っていると感じている人は3割弱である。

図表Ⅱ-2-13-① 保険・共済商品への考え<最新の契約について> (Q17)



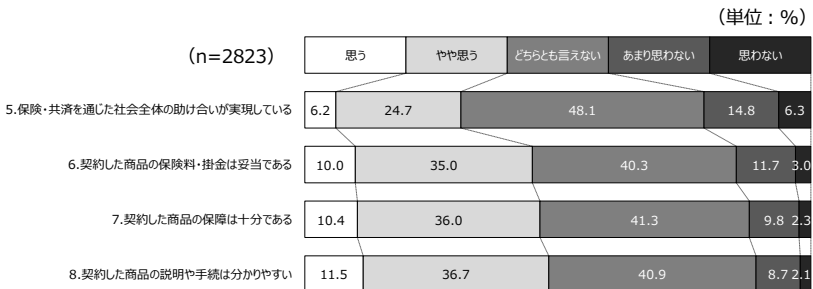
注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて30.9%、「どちらとも言えない」48.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.1%であった。保険・共済によって社会全体での相互扶助を実現していると思う人は約3割である。

「6. 契約した商品の保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて45.0%、「どちらとも言えない」40.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.7%であった。保険料・掛金を妥当と思っている人は約5割であり、妥当とは思わない人は約1割となっている。商品の内容と価格に関して、実際に契約した人の約5割はその妥当性に納得していると考えられる。

「7. 契約した商品の保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて46.4%、「どちらとも言えない」41.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると12.1%であった。十分な保障に加入したと考えている人の割合は約5割、どちらでもないが約4割となっている。

図表Ⅱ-2-13-② 保険・共済商品への考え＜最新の契約について＞（Q17）



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「8. 契約した商品の説明や手続は分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて48.2%、「どちらとも言えない」40.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると10.8%であった。分かりやすいと思っている人は約5割、どちらでもないが4割であった。また、分かりやすいとは思わない人は約1割であった。約半数の人が分かりやすいという認識を持っている現状が見られた。

(14) 実際に契約している保険・共済商品の提供企業への考え（最も新しい契約）

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）の提供企業についての考えを聞いた（Q18）。

「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて57.9%、「どちらとも言えない」37.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると4.3%であった。実際に保険・共済に加入した人の約6割はその商品の提供企業の経営が健全であると考えている。

「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて33.7%、「どちらとも言えない」58.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると7.7%であった。企業理念に共感できるとしている人は約3割であり、どちらとも言えないとする人が約6割となっている。企業理念というような抽象的な事項については、他の質問項目に比較してどちらでもないとの回答が多くなる傾向にある。

「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて59.9%、「どちらとも言えない」36.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると3.6%であった。約6割の人が契約加入先企業は速やかに支払いを行っていると考えている。

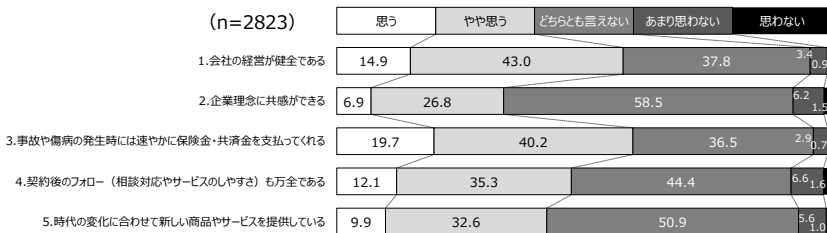
「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて47.4%、「どちらとも言えない」

44.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると8.2%であった。契約後のフォローが万全であると考えている人は約5割となっている。

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて42.5%、「どちらとも言えない」50.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると6.6%であった。時代に合わせた商品・サービスの提供については、約4割の人が高く評価しているのに対し、どちらとも言えないと回答した人は約5割となっている。

図表Ⅱ-2-14-① 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について> (Q18)

(単位：%)



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて46.6%、「どちらとも言えない」45.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると7.5%であった。約5割の人が商品やサービスの提供にかかる分かりやすさを評価しているのに対し、どちらとも言えないとする人も約5割となっており、分かりやすさを追求する取組みは今後も重要と考える。

「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて33.6%、「どちらとも言えない」57.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると8.9%であった。契約者の声を大切にしていると考えている

人は約3割であり、どちらとも言えないとする人は約6割となっている。

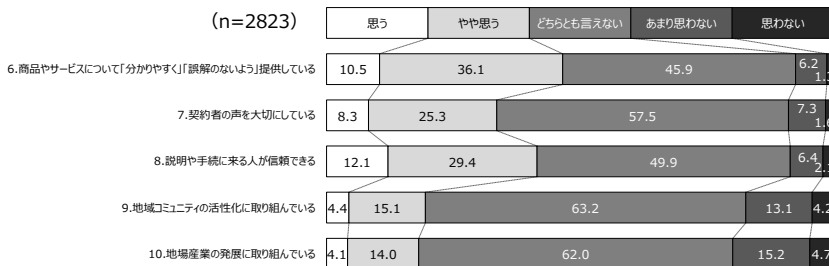
「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思う」を合わせて41.5%、「どちらとも言えない」49.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると8.5%であった。説明や手続きに来る人が信頼できると考えている人は約4割であり、どちらとも言えないとする人は約5割となっている。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.5%、「どちらとも言えない」63.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.3%であった。地域コミュニティの活性化に取り組んでいると思う人は約2割であり、どちらとも言えないとする人は約6割となっている。

「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.1%、「どちらとも言えない」62.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.9%であった。地場産業の発展に取り組んでいるとしたのは約2割であり、どちらとも言えないとした人は約6割となっている。

図表Ⅱ-2-14-② 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について> (Q18)

(単位：%)



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて14.8%、「どちらとも言えない」63.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.3%であった。ボランティア活動に取り組んでいるというイメージについては1割強が高い評価をしており、どちらとも言えないは約6割となっている。

「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.0%、「どちらとも言えない」62.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.1%であった。環境保護・保全活動については約2割が取り組んでいると思うとしている。また、どちらとも言えないが約6割となっている。

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.4%、「どちらとも言えない」64.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.4%であった。文化振興に取り組んでいると思う人は約2割、どちらとも言えないとする人は約6割となっている。

図表Ⅱ-2-14-③ 保険・共済提供企業への考え＜最新の契約について＞(Q18)

(単位：％)

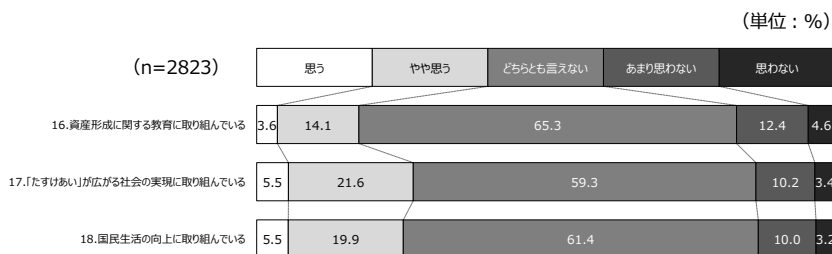
	(n=2823)		思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
11. ボランティア活動に取り組んでいる	3.4	11.4	63.9			16.1	5.2
12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる	4.1	14.9	62.9			13.8	4.3
13. 文化振興に取り組んでいる	3.8	12.6	64.2			14.7	4.7
14. 防災・減災に取り組んでいる	4.2	15.6	63.5			12.8	3.8
15. 交通安全の推進に取り組んでいる	4.4	15.1	64.2			12.3	4.1

注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.8%、「どちらとも言えない」63.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.6%であった。防災・減災に取り組んでいると思う人は約2割であり、どちらとも言えないとする人は約6割となっている。

「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.5%、「どちらとも言えない」64.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.4%であった。交通安全の推進に取り組んでいると思う人は約2割であり、どちらとも言えないとする人は約6割となっている。

図表Ⅱ-2-14-④ 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について> (Q18)



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.7%、「どちらとも言えない」65.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.0%であった。資産形成に関する教育に取り組んでいると思う人は約2割であり、どちらとも言えないとする人は約7割となっている。

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて27.1%、「どちらとも言えない」59.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると13.6%であった。たすけあいが広がる社会の実現に取り組んでいると思う人は約3割となっており、どちらとも

言えないとする人は約6割となっている。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.4%、「どちらとも言えない」61.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると13.2%であった。国民生活の向上に取り組んでいると思う人は約3割となっており、どちらとも言えないとする人は約6割となっている。

(15) 実際に契約している最も新しい契約についての考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての考えを聞いた（Q19）。

「1. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて30.5%、「どちらとも言えない」42.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると27.0%であった。加入している保険・共済商品について、誰かに紹介するには高すぎると思う人が約3割、高いとは思わない人も約3割となっている。

「2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて28.4%、「どちらとも言えない」45.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.9%であった。誰かに紹介するには商品の説明が難しいと考える人は約3割、難しすぎるとは思わないと考える人も約3割となっている。

「3. その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.1%、「どちらとも言えない」49.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると30.2%であった。誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思う人は約2割、十分な情報を持っているとは思わない人が約3割となっている。誰かに紹介するために十分な情報を持っていると考えている人の割合は比較

的に低いと言える。

「4. その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価出来ると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて23.2%、「どちらとも言えない」53.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.9%であった。保険・共済商品の善し悪しについて自信を持って評価できると考える人は約2割であり、自信を持って評価できるとは思わない人も約2割となっている。

図表Ⅱ-2-15-① 保険・共済への考え＜最新の契約について＞（Q19）

（単位：％）

(n=2823)		思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎと思いますか	6.4	24.1	42.5			21.7
2.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎと思いますか	6.1	22.3	45.7			21.6
3.その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いますか	3.7	16.4	49.7			22.5
4.その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価出来ると思いますか	4.0	19.2	53.9			18.2

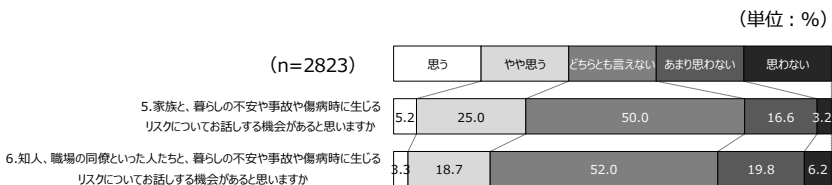
注）Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「5. 家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて30.2%、「どちらとも言えない」50.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.8%であった。家族とリスクについて話をする機会があると思う人は約3割、話をする機会があると思わないとする人は約2割となっている。

「6. 知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.0%、「どちらとも言えない」52.0%、「あまり

思わない」「思わない」を合わせると26.0%であった。知人、職場の同僚たちとリスクについて話をする機会があると思う人は約2割、話をする機会があるとは思わないとする人は約3割となっている。

図表Ⅱ-2-15-② 保険・共済への考え＜最新の契約について＞（Q19）



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(16) 実際に契約している最も新しい契約についての満足度

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）・提供企業についての満足度を聞いた（Q20）。

「1. その保険・共済商品についての満足度を教えてください」については、「満足」「やや満足」を合わせて54.6%、「どちらとも言えない」37.1%、「やや不満足」「不満足」を合わせると8.3%であった。実際に契約している保険・共済商品について満足とした人は約5割、不満足とした人は1割弱であり、契約に至った人は商品に満足している人の割合が高いといえる。なお、どちらとも言えないとした人は約4割であった。

「2. その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください」についても、同様の傾向を示している。

図表Ⅱ-2-16 保険・共済の満足度＜最新の契約について＞（Q20）

（単位：％）

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満足	不満足
(n=2823)					
1.その保険・共済商品についての満足度を教えてください	10.0	44.6	37.1	6.8	1.5
2.その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください	8.8	39.3	44.1	6.3	1.5

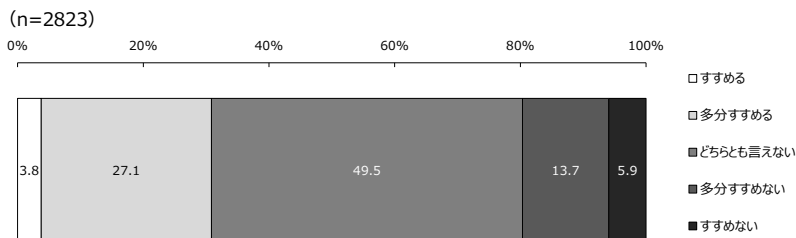
注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(17) 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての推奨意向

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての推奨意向を聞いた（Q21）。

「すすめる」「多分すすめる」を合わせて30.9%、「どちらとも言えない」49.5%、「多分すすめない」「すすめない」を合わせると19.6%であった。実際に加入している契約について家族・知人・同僚などに必要があると感じた場合におすすめするとした人は約3割、すすめないとした人は約2割となっている。

図表Ⅱ-2-17 保険・共済の推奨意向＜最新の契約について＞（Q21）



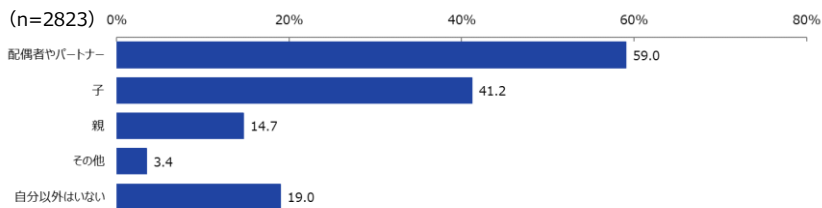
注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(18) 保険・共済と契約する際、「自分以外」では誰のリスクを考慮したか

保険や共済と契約する際に「自分以外」で誰のリスクを考慮したかを聞いたところ（Q22、複数選択）、「配偶者やパートナー」59.0%、「子」41.2%、「親」14.7%、「その他」3.4%、「自分以外はいない」19.0%であった。

保険や共済と契約する際に考慮するリスクについては、約6割が「配偶者やパートナー」、次いで約4割が「子」のためであり、「自分以外はいない」とした人は約2割となっている。

図表Ⅱ-2-18 保険・共済契約時に誰のリスクを考慮したか<最新の契約について>（Q22）



注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(19) 保険や共済への加入が、リスクを考慮した人に喜ばれていると思うか等

Q22で保険や共済と契約する際に「自分以外」の誰かのリスクを考慮した人に、その人（相手）が喜んでいると思うかなどについて聞いた（Q23）。

「1. その人は、あなたが保険や共済に加入したことを喜んでいてと思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて52.3%、「どちらとも言えない」42.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると5.4%であった。リスクを考慮した相手が契約加入を喜んでいると思うと考えている人は約5割、喜んでいるとは思わないと考えている人は1割以下である。契約加入に至った人の約半数は自分以外のリスクを考慮した相手が喜んでくれることを

したと感じている。

「2. その人は、あなたが保険や共済に加入したことで安心が増したと感じていると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて57.5%、「どちらとも言えない」36.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると6.1%であった。リスクを考慮した相手は安心が増したと思うと考えている人は約6割、その相手は安心が増したとは思わないと考えている人は1割に満たない。保険や共済の加入によりリスクを考慮した相手が安心感が増したと感じていると考える人の割合は、そう思わないとする人に比べて高いことが分かる。

「3. その人のために、保険や共済への加入は良かったと思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて63.7%、「どちらとも言えない」33.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると3.4%であった。リスクを考慮した相手のために加入して良かったと思うとした人は約6割であり、良かったとは思わないとした人の割合に比べて高いことがわかる。

図表Ⅱ-2-19 保険や共済に加入したことが、リスクを考慮した人に喜ばれていると思うか等＜最新の契約について＞（Q23）

(単位：％)

	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
(n=2287)					
1.その人は、あなたが保険や共済に加入したことを喜んでいると思いますか	13.9	38.4	42.2	4.0	1.4
2.その人は、あなたが保険や共済に加入したことで安心が増したと感じていると思いますか	15.1	42.4	36.4	4.7	1.4
3.その人のために、保険や共済への加入は良かったと思いますか	20.1	43.6	33.0	2.4	1.0

注) Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とし、Q22で「配偶者やパートナー」～「その他」とした方のみ回答

20) 検討したが契約しなかった保険・共済商品についての考え

検討したが契約しなかった保険・共済商品についての考えを聞いた(Q24)。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて53.5%、「どちらとも言えない」32.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.2%であった。契約しなかった商品について、生活の安心を守るのに有効であると考えた人は約5割、有効とは思わないと考えた人は1割強であった。

「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて51.1%、「どちらとも言えない」37.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.6%であった。不幸な出来事からの生活再建に有効と考えた人は約5割、有効とは思わないと考えた人は約1割であった。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて30.9%、「どちらとも言えない」49.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.3%であった。日々の暮らしと切り離せないものであると考えた人は約3割、そう思わない人は約2割であった。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていることを感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて27.3%、「どちらとも言えない」46.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.7%であった。自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じる人は3割弱、そう思わない人も3割弱であった。

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて29.9%、「どちらとも言えない」49.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.2%であった。保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現していると思う人は約3割、そう思わない人は約2割であった。

図表Ⅱ-2-20-① 保険・共済商品への考え＜検討したが契約しなかった人＞
(Q24)

(単位：％)

(n=311)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.生活の安心を守るのに有効である	11.3	42.2	32.2	11.9	2.3
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	13.8	37.3	37.3	10.0	1.6
3.日々の暮らしと切り離せないものである	7.4	23.5	49.8	16.1	3.2
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役にたっていると感じられる	5.1	22.2	46.9	16.1	9.6
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	5.8	24.1	49.8	14.1	6.1

注) Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

「6. 保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて30.3%、「どちらとも言えない」48.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.2%であった。契約しなかった商品の保険料・掛金は妥当と考えた人が約3割、妥当と思わない人は約2割であった。

「7. 保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて27.0%、「どちらとも言えない」49.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.2%であった。加入しなかったものの契約締結を検討した商品の保障は十分なものであると考えた人は約3割、十分と思わない人は約2割であった。

「8. 商品の説明や手続は分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.4%、「どちらとも言えない」48.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると26.0%であった。契約締結を検討した際に商品の説明や手続きが分かりやすいと考えた人は3割弱、そう思わないとした人も3割弱であった。

「9. その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.5%、「どちらとも言えない」51.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.0%であった。

契約締結によって周囲に安心感を与えられると感じた人は約3割、そう思わない人は2割弱であった。

「10. その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.8%、「どちらとも言えない」「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.5%であった。契約を締結することを周囲から求められていると感じていた人は2割強、そう思わなかった人も2割強であった。

図表Ⅱ-2-20-② 保険・共済商品への考え＜検討したが契約しなかった人＞
(Q24)

(単位：％)

	(n=311)				
	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
6.保険料・掛金は妥当である	5.5	24.8	48.6	16.1	5.1
7.保障は十分である	4.5	22.5	49.8	19.0	4.2
8.商品の説明や手続は分かりやすい	5.8	19.6	48.6	18.6	7.4
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心感を与えられると感じられる	6.1	25.4	51.4	13.5	3.5
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	6.4	16.4	53.7	16.7	6.8

注) Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

(2) 検討したが契約しなかった保険・共済商品の提供企業についての考え

検討したが契約しなかった保険や共済商品の提供企業についての考えを聞いた (Q25)。

「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて44.1%、「どちらとも言えない」41.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.8%であった。加入しなかったが契約締結を検討した保険・共済の提供企業について、経営が健全と考えた人は4割強、そう思わなかった人は1割強であった。

「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて26.4%、「どちらとも言えない」58.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.8%であった。企業理念に共感できるとした人は3割弱、そう思わない人は1割強であった。どちらとも言えないは6割弱であった。

「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて44.0%、「どちらとも言えない」44.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.9%であった。迅速な保険金・共済金の支払いを行う企業であると考えた人は4割強、そう思わないと考えた人は1割強であった。

「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて35.7%、「どちらとも言えない」50.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると13.5%であった。検討した商品の提供企業は契約後フォローが万全と考えた人は4割弱、そう思わない人は1割強であった。

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて32.8%、「どちらとも言えない」52.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.5%であった。時代の変化に合わせた商品・サービスを提供している企業であると考えた人は3割強、そう思わないとした人は1割強であった。

「6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて37.6%、「どちらとも言えない」48.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.2%であった。商品やサービスを分かりやすく誤解のないように提供している企業であると考えた人は4割弱、そう思わない人は1割強であった。

図表Ⅱ-2-21-① 保険・共済提供企業への考えく検討したが契約しなかった人> (Q25)

(単位：%)

(n=311)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.会社の経営が健全である	11.9	32.2	41.2	13.5	1.3
2.企業理念に共感できる	6.1	20.3	58.8	12.2	2.6
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	10.9	33.1	44.1	9.6	2.3
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	9.0	26.7	50.8	11.6	1.9
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	8.7	24.1	52.7	12.9	1.6
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	7.7	29.9	48.2	11.3	2.9

注) Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.8%、「どちらとも言えない」55.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると12.5%であった。契約締結を検討した企業が契約者の声を大切にしていると考えた人は3割強、そう思わないが1割強であった。どちらとも言えないは約6割であった。

「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.2%、「どちらとも言えない」52.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.4%であった。説明や手続きに来る人が信頼できると考えた人は3割強、そう思わない人は2割弱であった。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.7%、「どちらとも言えない」55.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.3%であった。契約締結を検討した企業が地域コミュニティの活性化に取り組んでいると考えた人は3割弱、そう思わないのは2割弱、どちらとも言えないが6割弱であった。

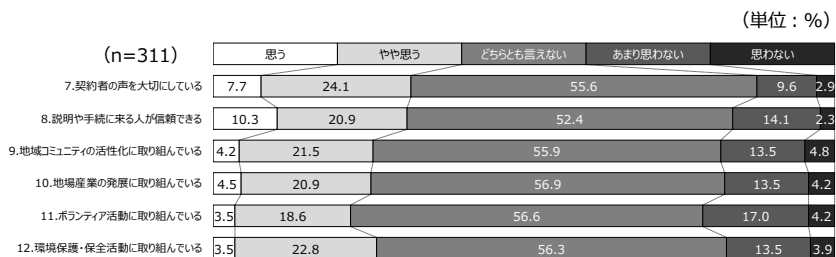
「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.4%、「どちらとも言えない」56.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.7%であった。契約締結を検討した企業が地場産業の

発展に取り組んでいると考えた人は3割弱、そう思わないと考えた人は2割弱であった。

「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.1%、「どちらとも言えない」56.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.2%であった。契約締結を検討した企業がボランティア活動に取り組んでいると考えた人は2割強、そう思わない人も2割強であった。

「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて26.3%、「どちらとも言えない」56.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.4%であった。契約締結を検討した企業が環境保護・保全活動に取り組んでいると考えた人は3割弱、そう思わない人は2割弱であった。

図表Ⅱ-2-21-② 保険・共済提供企業への考え<検討したが契約しなかった人> (Q25)



注) Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.5%、「どちらとも言えない」55.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.9%であった。契約締結を検討した企業が文化振興に取り組んでいると考えた人は2割強、そう思わないとした人は約2割であった。

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて29.2%、「どちらとも言えない」52.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.3%であった。契約締結を検討した企業が防災・減災に取り組んでいると考えた人は約3割、そう思わないとした人は2割弱であった。

「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて29.0%、「どちらとも言えない」55.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると15.7%であった。契約締結を検討した企業が交通安全の推進に取り組んでいると考えた人は3割弱、そう思わないとした人は2割弱であった。

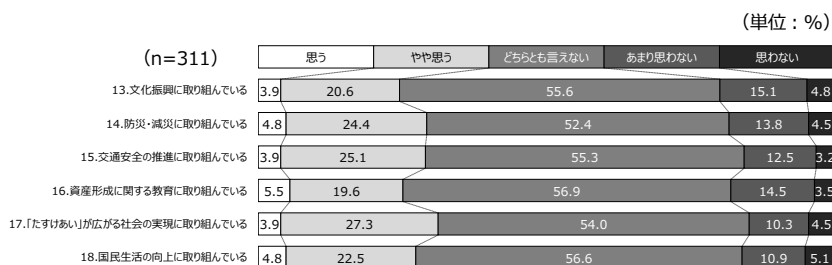
「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.1%、「どちらとも言えない」56.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.0%であった。契約締結を検討した企業が資産形成に関する教育に取り組んでいると考えた人は3割弱、そう思わないとした人が2割弱であった。

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.2%、「どちらとも言えない」54.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.8%であった。契約締結を検討した企業が助け合いの広がる社会の実現に取り組んでいると考えた人は約3割、そう思わないとした人は1割強であった。どちらとも言えないは5割強であった。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて27.3%、「どちらとも言えない」56.6%、「あまり思わない」「思わ

ない」を合わせると16.0%であった。契約締結を検討した企業が国民生活の向上に取り組んでいると考える人は3割弱、そう思わない人は2割弱であった。

図表Ⅱ-2-21-③ 保険・共済提供企業への考え<検討したが契約しなかった人> (Q25)



注) Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

② 検討したが契約しなかった保険・共済商品および提供企業についての満足度等

検討したが契約しなかった保険・共済商品および提供企業についての評価を聞いた (Q26)。

「1. その保険・共済商品の評価 (要望との合致度や満足度) を教えてください」については、「高く評価している」「やや高く評価している」を合わせて25.1%、「どちらとも言えない」56.9%、「やや低く評価している」「低く評価している」を合わせると18.0%であった。契約しなかった商品について要望との合致や満足度を高く評価した人は3割弱、低く評価した人は2割弱、どちらとも言えないとした人が6割弱であった。

「2. その保険・共済商品を提供している企業についての評価 (印象や信頼度) を教えてください」についても、ほとんど同様の傾向を示している。

図表Ⅱ-2-22 保険・共済の満足度＜検討したが契約しなかった人＞（Q26）

（単位：％）

	(n=311)				
	高く評価している	やや高く評価している	どちらとも言えない	やや低く評価している	低く評価している
1.その保険・共済商品の評価（要望との合致度や満足度）を教えてください	2.3	22.8	56.9	15.4	2.6
2.その保険・共済商品を提供している企業についての評価（印象や信頼度）を教えてください	3.9	19.9	58.8	15.1	2.3

注）Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

㉓ 契約を検討自体したことがない人の保険・共済商品についての考え

契約の検討自体をしたことがない人の保険・共済商品についての考えを聞いた（Q27）。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて36.0%、「どちらとも言えない」47.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.7%であった。保険・共済商品について生活の安心を守るのに有効と考えた人は4割弱、そう思わないとした人は2割弱であった。

「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて33.3%、「どちらとも言えない」49.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.3%であった。保険・共済商品が生活再建に有効であると考えた割合は3割強、そう思わないとした人は2割弱であった。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.6%、「どちらとも言えない」58.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.4%であった。保険・共済商品が暮らしと切り離せないものと考えた人は約2割、そう思わないとした人は2割強であった。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.9%、「どちらとも言えない」57.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.8%であった。保険料・掛金が誰かの役に立つものであると考えた人は2割弱、そう思わないとした人は2割強であった。

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.4%、「どちらとも言えない」59.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.6%であった。保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現していると考えた人は2割弱、そう思わないとした人は2割強であった。

図表Ⅱ-2-23-① 保険・共済商品への考え＜契約の検討をしたことがない人＞
(Q27)

(単位：%)

	(n=757)				
	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.生活の安心を守るのに有効である	7.9	28.1	47.2	9.6	7.1
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	8.7	24.6	49.4	10.4	6.9
3.日々の暮らしと切り離せないものである	5.7	13.9	58.0	12.9	9.5
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	4.8	13.1	57.3	13.7	11.1
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	3.7	14.7	59.0	14.0	8.6

注) Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答

「6. 保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.1%、「どちらとも言えない」62.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.9%であった。保険料・掛金は妥当であると考えた人は2割弱、そう思わないとした人は2割強であった。

「7. 保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて15.2%、「どちらとも言えない」63.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.5%であった。保険・共済商品による保障は十分と考えた人は2割弱、そう思わないとした人は2割強であった。

「8. 商品の説明や手続きは分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて11.5%、「どちらとも言えない」61.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると27.5%であった。商品の説明や手続きの分かりやすさのイメージについて、分かりやすいと思う人は1割強、そう思わないとした人は3割弱であった。

図表Ⅱ-2-23-② 保険・共済商品への考え＜契約の検討をしたことがない人＞
(Q27)

(単位：%)

(n=757)

	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
6.保険料・掛金は妥当である	3.8	12.3	62.0	12.5	9.4
7.保障は十分である	3.4	11.8	63.3	12.8	8.7
8.商品の説明や手続きは分かりやすい	3.7	7.8	61.0	15.9	11.6
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる	4.4	12.4	60.9	14.3	8.1
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	4.4	9.2	60.9	14.8	10.7

注) Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答

「9. その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.8%、「どちらとも言えない」60.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.4%であった。保険・共済に加入すると周囲の人に安心感を与えられると感じた人は2割弱、そう思わないとした人は2割強であった。

「10. その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて13.6%、「どちらとも言えない」60.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.5%であった。保険・共済に加入することを周囲から求められていると感じている人は1割強、そうは思わない人は3割弱であった。

④ 契約を検討自体したことがない人の保険・共済商品の提供企業について の考え

契約の検討自体をしたことがない人の保険や共済商品の提供企業について
の考えを聞いた（Q28）。

「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて21.9%、「どちらとも言えない」60.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.7%であった。契約の検討自体をしたことがない人で、保険・共済商品の提供企業の経営は健全であると思う人は2割強、そう思わない人は2割弱であった。

「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて13.2%、「どちらとも言えない」66.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.2%であった。保険・共済商品の提供企業の企業理念に共感できるとした人は1割強、そう思わないは約2割、どちらとも言えないは7割弱であった。

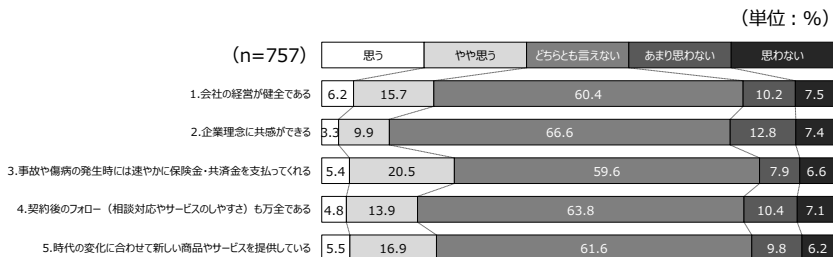
「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.9%、「どちらとも言えない」

59.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.5%であった。保険金・共済金は迅速に支払われるというイメージを持つ人は3割弱、そうは思わない人は1割強であった。

「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.7%、「どちらとも言えない」63.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.5%であった。保険・共済の提供企業は契約後のフォローも万全であると思う人は2割弱、そうは思わないとする人も2割弱であった。

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「やや思う」「思う」を合わせて22.4%、「どちらとも言えない」61.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.0%であった。保険・共済の提供企業は新しい商品やサービスを提供していると思う人は2割強であり、そうは思わないとする人は2割弱であった。

図表Ⅱ-2-24-① 保険・共済提供企業への考え<契約の検討をしたことがない人>（Q28）



注) Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答

「6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.0%、「どちらとも言えない」63.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.1%であった。保険・共済の提供企業は商品やサービスについて、分かりやすく誤解のないように提供していると思う人は2割弱、そうは思わないとする人は約2割であった。

「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて14.9%、「どちらとも言えない」66.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.8%であった。保険・共済の提供企業は契約者の声を大切にしていると思う人は1割強、そうは思わないとする人は2割弱であった。

「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思う」を合わせて15.4%、「どちらとも言えない」64.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.3%であった。説明や手続きに来る人が信頼できると思う人は2割弱、そうは思わないとする人は約2割であった。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて13.4%、「どちらとも言えない」63.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.1%であった。保険・共済の提供企業が地域コミュニティの活性化に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は2割強であった。

「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて14.8%、「どちらとも言えない」62.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.3%であった。保険・共済の提供企業が地場産業の発展に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は2割強であった。

「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて11.9%、「どちらとも言えない」64.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.9%であった。保険・共済の提供企業がボラン

ティア活動に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は2割強であった。

図表Ⅱ-2-24-② 保険・共済提供企業への考え<契約の検討をしたことがない人> (Q28)

(単位: %)

	(n=757)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	4.0	12.0	63.9			12.3 7.8
7.契約者の声を大切にしている	4.1	10.8	66.3			11.4 7.4
8.説明や手続に来る人が信頼できる	3.8	11.6	64.2			11.2 9.1
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	3.6	9.8	63.5			14.0 9.1
10.地域産業の発展に取り組んでいる	3.3	11.5	62.9			13.7 8.6
11.ボランティア活動に取り組んでいる	3.3	8.6	64.2			14.7 9.2

注) Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答

「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて15.0%、「どちらとも言えない」62.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.5%であった。保険・共済の提供企業が環境保護・保全活動に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は2割強であった。

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて12.7%、「どちらとも言えない」65.5%、「思わない」「あまり思わない」を合わせると21.8%であった。保険・共済の提供企業が文化振興に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は2割強であった。

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて15.3%、「どちらとも言えない」64.2%、「思わない」「あまり思わない」を合わせると20.5%であった。保険・共済の提供企業が防災・減災に取

り組んでいると思う人は2割弱、そうは思わないとする人は約2割であった。

「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて12.6%、「どちらとも言えない」67.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.2%であった。保険・共済の提供企業が交通安全の推進に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は約2割であった。

「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて13.7%、「どちらとも言えない」65.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.1%であった。保険・共済の提供企業が資産形成に関する教育に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わない人は2割強であった。

図表Ⅱ-2-24-③ 保険・共済提供企業への考え＜契約の検討をしたことがない人＞（Q28）

(単位：%)

	(n=757)		思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	3.8	11.2	62.4			13.3	9.2
13.文化振興に取り組んでいる	3.3	9.4	65.5			12.7	9.1
14.防災・減災に取り組んでいる	3.4	11.9	64.2			12.8	7.7
15.交通安全の推進に取り組んでいる	3.6	9.0	67.2			12.3	7.9
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	3.0	10.7	65.1			12.0	9.1

注) Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.8%、「どちらとも言えない」63.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.7%であった。保険・共済の提供企業が、たすけあいが広がる社会の実現に取り組んでいると思う人は2割弱、そうは思わないとする人は約2割であった。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて14.5%、「どちらとも言えない」66.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.3%であった。保険・共済の提供企業が国民生活の向上に取り組んでいると思う人は1割強、そうは思わないとする人は約2割であった。

図表Ⅱ-2-24-④ 保険・共済提供企業への考え<契約の検討をしたことがない人> (Q28)

(単位：%)

		思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
(n=757)						
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	4.0	12.8	63.5			11.4
						8.3
18.国民生活の向上に取り組んでいる	4.1	10.4	66.2			11.6
						7.7

注) Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答

(本稿は2021年12月13日開催の研究会報告の内容をまとめたものである。)

資料編 単純集計結果

「共済事業にかかる認知度等調査（2020年度）」の単純集計

Q 1. あなたのお仕事についてお選びください。（単一回答）

	n	%
全体	3891	100.0
自営業	234	6.0
会社勤務（正社員）	1847	47.5
会社勤務（契約社員、パート、アルバイト）	784	20.1
その他	210	5.4
自ら収入を得る仕事はしていない	816	21.0

Q 2. あなたの同居者について、該当する方をお選びください。義理の関係も含めてお選びください。（いくつでも）

	n	%
全体	3891	100.0
配偶者・パートナー	2368	60.9
親	877	22.5
子（未就学児）	509	13.1
子（小学生・中学生）	490	12.6
子（高校生以上の学生）	358	9.2
子（社会人）	446	11.5
孫	35	0.9
その他	233	6.0
同居人はいない	713	18.3

Q 3. あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

	n — %	該 当 す る	や や 該 当 す る	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 該 当 し な い	該 当 し な い
1.環境に配慮した生活を送りたい	3891 100.0	513 13.2	1678 43.1	1195 30.7	339 8.7	166 4.3
2.自然と親しむのが好きだ	3891 100.0	665 17.1	1528 39.3	1123 28.9	418 10.7	157 4.0
3.健康管理には気をつけている方だ	3891 100.0	618 15.9	1690 43.4	1127 29.0	362 9.3	94 2.4
4.地域活動やボランティア活動に取り組みたい	3891 100.0	159 4.1	597 15.3	1440 37.0	1064 27.3	631 16.2
5.社会貢献に関心がある	3891 100.0	206 5.3	879 22.6	1484 38.1	879 22.6	443 11.4
6.気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる	3891 100.0	479 12.3	1502 38.6	1242 31.9	482 12.4	186 4.8
7.流行に敏感な方だ	3891 100.0	183 4.7	704 18.1	1558 40.0	1000 25.7	446 11.5
8.世の中の物事に対して広く関心がある方だ	3891 100.0	321 8.2	1436 36.9	1422 36.5	548 14.1	164 4.2
9.伝統や常識を重んじる方だ	3891 100.0	244 6.3	1243 31.9	1623 41.7	579 14.9	202 5.2
10.経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ	3891 100.0	291 7.5	1113 28.6	1951 50.1	412 10.6	124 3.2
11.多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ	3891 100.0	117 3.0	782 20.1	1733 44.5	949 24.4	310 8.0
12.通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ	3891 100.0	166 4.3	1015 26.1	1666 42.8	784 20.1	260 6.7
13.総じて価格重視で安いものを選んでいる	3891 100.0	328 8.4	1152 29.6	1719 44.2	558 14.3	134 3.4
14.多少高くても品質の良いものを選ぶ	3891 100.0	241 6.2	1330 34.2	1699 43.7	503 12.9	118 3.0
15.商品を買う前に色々と情報を集めてから買う	3891 100.0	648 16.7	1630 41.9	1220 31.4	301 7.7	92 2.4
16.購入のしやすさで商品を選ぶ事が多い	3891 100.0	198 5.1	1355 34.8	1776 45.6	447 11.5	115 3.0
17.売れ筋商品を選ぶことが多い	3891 100.0	162 4.2	1227 31.5	1824 46.9	530 13.6	148 3.8
18.商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ	3891 100.0	178 4.6	1081 27.8	1702 43.7	705 18.1	225 5.8
19.他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ	3891 100.0	331 8.5	1218 31.3	1807 46.4	435 11.2	100 2.6

Q 4. 日常生活において、あなたが気がかりや不安に思ったりすることを選びください。(いくつでも)

	n	%
全体	3891	100.0
子育てに関すること	941	24.2
自分の老後に向けたこと	2643	67.9
老親介護のこと(親が同居していない場合も含む)	1507	38.7
災害時における住宅被害のこと	1305	33.5
感染症や治療・治癒が困難な病気のこと	1618	41.6
自動車に関する事故やトラブルのこと	698	17.9
損害賠償等のトラブルのこと	322	8.3
その他:	48	1.2
気がかりや不安はない	526	13.5

Q 5. 保険や共済のしくみは相互扶助(たすけあい)の精神からはじまったと言われてしています。助け合いは、あなたにとって重要ですか。(単一回答)

	n	%
全体	3891	100.0
そう思う	2549	65.5
そう思わない	280	7.2
どちらとも言えない	1062	27.3

Q 6. 助け合いが重要だとお考えになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

【Q 5で「そう思う」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2549	100.0
自然災害の被害を受けた	466	18.3
失業等による経済状況の悪化に見舞われた	327	12.8
自分以外の人の困った姿を見て	1158	45.4
自分の思想・信条	897	35.2
親や家族や学校等での教育	747	29.3
その他:	36	1.4
特に思い当たるきっかけはない	443	17.4

Q 7. 共済に入るには、原則として協同組合の組合員であることが必要だと知っていますか。(単一回答)

	n	%
全体	3891	100.0
知っている	1797	46.2
知らない	2094	53.8

Q 8. 保険会社があげた利益（剰余）は、どのように使われていると思いますか。(いくつでも)

	n	%
全体	3891	100.0
事業拡大・経営基盤強化のための費用	1682	43.2
毎年の事業活動のための費用	1356	34.8
資産運用・投資	1534	39.4
出資者への配当	1384	35.6
契約者への還元	1026	26.4
社会貢献	638	16.4
その他の活動	169	4.3
わからない	1122	28.8

Q 9. 共済があげた利益（剰余）は、どのように使われていると思いますか。(いくつでも)

	n	%
全体	3891	100.0
事業拡大・経営基盤強化のための費用	1115	28.7
毎年の事業活動のための費用	1178	30.3
資産運用・投資	966	24.8
出資者への配当	1335	34.3
契約者への還元	1209	31.1
社会貢献	677	17.4
その他の活動	157	4.0
わからない	1302	33.5

Q10. あなたはこれまでに保険会社や共済と契約をしたことがありますか。

(単一回答)

	n	%
全体	3891	100.0
契約をしている、もしくはしたことがある	2823	72.6
検討はしたが、契約をしたことはない	311	8.0
検討自体をしたことがない	757	19.5

Q11. あなたが保険や共済の契約を検討した際、重視した情報をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答】

	n	%
全体	3134	100.0
保険会社や共済のホームページ	996	31.8
保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット	1070	34.1
保険会社や共済が作成したテレビ広告	188	6.0
営業担当者の説明	1356	43.3
保険会社や共済以外が提供するインターネットの情報	471	15.0
SNS	143	4.6
新聞	128	4.1
本・雑誌	107	3.4
友人・知人の意見	590	18.8
家族の意見	742	23.7
その他：	70	2.2

Q12. これまでの保険や共済の契約をした場面をすべてお選びください。

(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
営業担当者の訪問をうけて	1460	51.7
保険会社や共済の店頭で	498	17.6
代理店（保険ショップ等を含む）で	567	20.1
郵送した	481	17.0
Web・インターネットで手続した	594	21.0
職場での募集に応じて	460	16.3
その他：	91	3.2

Q13. 保険や共済へ加入後に、手続きや疑問が発生した場合、どの方法で確認しますか（していましたか）。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
営業担当者へ連絡	1514	53.6
保険会社や共済の店頭で確認	360	12.8
代理店（保険ショップ等を含む）で確認	351	12.4
コールセンターに確認	1010	35.8
Web・インターネットで確認	943	33.4
職場で確認	179	6.3
その他：	26	0.9

Q14. 保険会社や共済の経営状況や健全性、社会貢献活動などの情報は、ホームページやディスクロージャー誌、ファクトブックなどで公開されています。関心のある情報をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
保険金・共済金の支払い状況	1565	55.4
事業状況、決算報告	788	27.9
健全性に関わる指標など	718	25.4
総会（総代会）の開催状況	137	4.9
社会貢献やSDGsなどの取り組み状況	339	12.0
この中にはない	862	30.5

Q15. あなたが実際に契約されている（されていた）保険会社や共済をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
日本生命	551	19.5
第一生命	444	15.7
明治安田生命	379	13.4
かんぽ生命	441	15.6
アフラック	610	21.6
メットライフ生命	245	8.7
ライフネット生命	66	2.3
その他の生命保険会社	985	34.9
東京海上日動火災	647	22.9
損害保険ジャパン	463	16.4
三井住友海上火災	319	11.3
共栄火災海上	30	1.1
あいおいニッセイ同和	250	8.9
ソニー損保	217	7.7
AIG損保	92	3.3
その他の損害保険会社	378	13.4
いすゞの少額短期保険会社	51	1.8
JA共済（農協の共済）	363	12.9
JF共済（漁協の共済）	9	0.3
ごくみん共済 coop <全労済>	320	11.3
コープ共済（CO・OP共済）	332	11.8
都道府県民共済 <全国生協連>	561	19.9
職場内や同じ職業の方、あるいは市民を対象に募集されている共済 <中小企業共済、〇〇市民共済など>	141	5.0
その他の共済	100	3.5

Q16. あなたが実際に契約されている保険会社や共済のうち、「最も新しい契約（更新は含まない）」をひとつ選択してください。すべての契約を解約されている場合、「最後に解約した契約」をお選びください。（単一回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
日本生命	171	6.1
第一生命	149	5.3
明治安田生命	105	3.7
かんぽ生命	116	4.1
アフラック	206	7.3
メットライフ生命	102	3.6
ライフネット生命	22	0.8
その他の生命保険会社	386	13.7
東京海上日動火災	219	7.8
損害保険ジャパン	140	5.0
三井住友海上火災	83	2.9
共栄火災海上	5	0.2
あいおいニッセイ同和	79	2.8
ソニー損保	102	3.6
AIG損保	22	0.8
その他の損害保険会社	165	5.8
いずれかの少額短期保険会社	16	0.6
JA共済（農協の共済）	141	5.0
JF共済（漁協の共済）	1	0.0
こくみん共済 coop＜全労済＞	122	4.3
コープ共済（CO・OP共済）	120	4.3
都道府県民共済＜全国生協連＞	257	9.1
職場内や同じ職業の方、あるいは市民を対象に募集されている共済＜中小企業共済、〇〇市民共済など＞	51	1.8
その他の共済	43	1.5

※ これ以降の設問（Q17～Q23）は、Q16で回答した【あなたが実際に契約されている保険会社や共済のうち、「最も新しい契約（更新は含まない）」（すべての契約を解約されている場合、「最後に解約した契約」）】についてお伺いします。

Q17. その保険・共済商品について、あなたの考えをお聞かせください。

（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.生活の安心を守るのに有効である	2823 100.0	646 22.9	1376 48.7	642 22.7	122 4.3	37 1.3
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	2823 100.0	566 20.0	1219 43.2	804 28.5	178 6.3	56 2.0
3.日々の暮らしと切り離せないものである	2823 100.0	329 11.7	895 31.7	1176 41.7	339 12.0	84 3.0
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役にたっていることを感じられる	2823 100.0	193 6.8	594 21.0	1242 44.0	536 19.0	258 9.1
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	2823 100.0	174 6.2	697 24.7	1357 48.1	418 14.8	177 6.3
6.契約した商品の保険料・掛金は妥当である	2823 100.0	283 10.0	988 35.0	1138 40.3	329 11.7	85 3.0
7.契約した商品の保障は十分である	2823 100.0	295 10.4	1017 36.0	1167 41.3	278 9.8	66 2.3
8.契約した商品の説明や手続は分かりやすい	2823 100.0	326 11.5	1036 36.7	1155 40.9	247 8.7	59 2.1

Q18. その保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え ない	あ ま り 思 わ ない	思 わ ない
1.会社の経営が健全である	2823 100.0	420 14.9	1215 43.0	1068 37.8	96 3.4	24 0.9
2.企業理念に共感ができる	2823 100.0	196 6.9	757 26.8	1652 58.5	176 6.2	42 1.5
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	2823 100.0	557 19.7	1134 40.2	1031 36.5	82 2.9	19 0.7
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	2823 100.0	342 12.1	997 35.3	1253 44.4	186 6.6	45 1.6
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	2823 100.0	279 9.9	920 32.6	1436 50.9	159 5.6	29 1.0
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	2823 100.0	297 10.5	1020 36.1	1295 45.9	174 6.2	37 1.3
7.契約者の声を大切にしている	2823 100.0	233 8.3	715 25.3	1624 57.5	206 7.3	45 1.6
8.説明や手続に来る人が信頼できる	2823 100.0	342 12.1	830 29.4	1410 49.9	182 6.4	59 2.1
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	2823 100.0	125 4.4	425 15.1	1783 63.2	371 13.1	119 4.2
10.地場産業の発展に取り組んでいる	2823 100.0	117 4.1	395 14.0	1751 62.0	428 15.2	132 4.7
11.ボランティア活動に取り組んでいる	2823 100.0	96 3.4	323 11.4	1803 63.9	454 16.1	147 5.2
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	2823 100.0	116 4.1	422 14.9	1776 62.9	389 13.8	120 4.3
13.文化振興に取り組んでいる	2823 100.0	108 3.8	357 12.6	1811 64.2	414 14.7	133 4.7
14.防災・減災に取り組んでいる	2823 100.0	119 4.2	441 15.6	1794 63.5	361 12.8	108 3.8
15.交通安全の推進に取り組んでいる	2823 100.0	123 4.4	425 15.1	1812 64.2	346 12.3	117 4.1
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	2823 100.0	102 3.6	398 14.1	1844 65.3	349 12.4	130 4.6
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	2823 100.0	154 5.5	610 21.6	1675 59.3	287 10.2	97 3.4
18.国民生活の向上に取り組んでいる	2823 100.0	154 5.5	563 19.9	1734 61.4	281 10.0	91 3.2

Q19. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n -%	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いますか	2823 100.0	180 6.4	680 24.1	1200 42.5	614 21.7	149 5.3
2.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎだと思いますか	2823 100.0	171 6.1	629 22.3	1290 45.7	611 21.6	122 4.3
3.その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いますか	2823 100.0	104 3.7	463 16.4	1404 49.7	636 22.5	216 7.7
4.その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価出来ると思いますか	2823 100.0	113 4.0	541 19.2	1522 53.9	513 18.2	134 4.7
5.家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか	2823 100.0	146 5.2	706 25.0	1411 50.0	469 16.6	91 3.2
6.知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか	2823 100.0	93 3.3	529 18.7	1468 52.0	558 19.8	175 6.2

Q20. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n -%	満 足	や や 満 足	ど ち ら と も 言 え な い	や や 不 満 足	不 満 足
1.その保険・共済商品についての満足度を教えてください	2823 100.0	283 10.0	1259 44.6	1047 37.1	192 6.8	42 1.5
2.その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください	2823 100.0	248 8.8	1109 39.3	1245 44.1	179 6.3	42 1.5

Q21. あなたはその保険・共済商品が、家族や知人、職場の同僚といった人々たちにとって必要があると感じた場合、おすすめしますか。(単一回答)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
すすめない	166	5.9
多分すすめない	388	13.7
どちらとも言えない	1397	49.5
多分すすめる	766	27.1
すすめる	106	3.8

Q22. 保険や共済は、偶然に発生する事故や傷病などによって生じる自分や関係者のリスクに備える制度です。その保険・共済と契約する際、「自分以外」ではどなたのリスクを考慮されましたか。例えば、お子様の学費の積み立てに学資保険を契約されたのであれば、「子供」を選択してください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2823	100.0
配偶者やパートナー	1666	59.0
子	1163	41.2
親	414	14.7
その他	97	3.4
自分以外はいない	536	19.0

Q23. 前問で、1.「配偶者やパートナー」～4.「その他」のいずれかを選んでいらっしゃる方にお伺いします。次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とし、Q22で「配偶者やパートナー」～「その他」とした方のみ回答】

	n -%	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.その人は、あなたが保険や共済に加入したことを喜んでいてと思いますか	2287 100.0	318 13.9	879 38.4	965 42.2	92 4.0	33 1.4
2.その人は、あなたが保険や共済に加入したことで安心が増したと感じていると思いますか	2287 100.0	346 15.1	969 42.4	833 36.4	108 4.7	31 1.4
3.その人のために、保険や共済への加入は良かったと思いますか	2287 100.0	460 20.1	996 43.6	754 33.0	54 2.4	23 1.0

Q24. あなたが検討したが契約しなかった保険・共済商品について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答】

	n -%	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.生活の安心を守るのに有効である	311 100.0	35 11.3	132 42.2	100 32.2	37 11.9	7 2.3
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	311 100.0	43 13.8	116 37.3	116 37.3	31 10.0	5 1.6
3.日々の暮らしと切り離せないものである	311 100.0	23 7.4	73 23.5	155 49.8	50 16.1	10 3.2
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役にっていると感じられる	311 100.0	16 5.1	69 22.2	146 46.9	50 16.1	30 9.6
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	311 100.0	18 5.8	75 24.1	155 49.8	44 14.1	19 6.1
6.保険料・掛金は妥当である	311 100.0	17 5.5	77 24.8	151 48.6	50 16.1	16 5.1
7.保障は十分である	311 100.0	14 4.5	70 22.5	155 49.8	59 19.0	13 4.2
8.商品の説明や手続は分かりやすい	311 100.0	18 5.8	61 19.6	151 48.6	58 18.6	23 7.4
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる	311 100.0	19 6.1	79 25.4	160 51.4	42 13.5	11 3.5
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	311 100.0	20 6.4	51 16.4	167 53.7	52 16.7	21 6.8

Q25. あなたが検討したが契約しなかった保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.会社の経営が健全である	311 100.0	37 11.9	100 32.2	128 41.2	42 13.5	4 1.3
2.企業理念に共感ができる	311 100.0	19 6.1	63 20.3	183 58.8	38 12.2	8 2.6
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	311 100.0	34 10.9	103 33.1	137 44.1	30 9.6	7 2.3
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	311 100.0	28 9.0	83 26.7	158 50.8	36 11.6	6 1.9
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	311 100.0	27 8.7	75 24.1	164 52.7	40 12.9	5 1.6
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	311 100.0	24 7.7	93 29.9	150 48.2	35 11.3	9 2.9
7.契約者の声を大切にしている	311 100.0	24 7.7	75 24.1	173 55.6	30 9.6	9 2.9
8.説明や手続に来る人が信頼できる	311 100.0	32 10.3	65 20.9	163 52.4	44 14.1	7 2.3
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	311 100.0	13 4.2	67 21.5	174 55.9	42 13.5	15 4.8
10.地場産業の発展に取り組んでいる	311 100.0	14 4.5	65 20.9	177 56.9	42 13.5	13 4.2
11.ボランティア活動に取り組んでいる	311 100.0	11 3.5	58 18.6	176 56.6	53 17.0	13 4.2
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	311 100.0	11 3.5	71 22.8	175 56.3	42 13.5	12 3.9
13.文化振興に取り組んでいる	311 100.0	12 3.9	64 20.6	173 55.6	47 15.1	15 4.8
14.防災・減災に取り組んでいる	311 100.0	15 4.8	76 24.4	163 52.4	43 13.8	14 4.5
15.交通安全の推進に取り組んでいる	311 100.0	12 3.9	78 25.1	172 55.3	39 12.5	10 3.2
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	311 100.0	17 5.5	61 19.6	177 56.9	45 14.5	11 3.5
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	311 100.0	12 3.9	85 27.3	168 54.0	32 10.3	14 4.5
18.国民生活の向上に取り組んでいる	311 100.0	15 4.8	70 22.5	176 56.6	34 10.9	16 5.1

Q26. あなたが検討したが契約しなかった保険・共済商品および提供企業について、あなたの評価を教えてください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答】

	n — %	高く 評価 して いる	やや 高く 評価 して いる	ど ち ら と も 言 え な い	やや 低 く 評価 して いる	低 く 評価 して いる
1.その保険・共済商品の評価（要望との合致度や満足度）を教えてください	311 100.0	7 2.3	71 22.8	177 56.9	48 15.4	8 2.6
2.その保険・共済商品を提供している企業についての評価（印象や信頼度）を教えてください	311 100.0	12 3.9	62 19.9	183 58.8	47 15.1	7 2.3

Q27. あなたが保険・共済商品についてお持ちのイメージをお聞かせください。（それぞれ横方向にいずれかひとつ回答）

【Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	やや 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.生活の安心を守るのに有効である	757 100.0	60 7.9	213 28.1	357 47.2	73 9.6	54 7.1
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	757 100.0	66 8.7	186 24.6	374 49.4	79 10.4	52 6.9
3.日々の暮らしと切り離せないものである	757 100.0	43 5.7	105 13.9	439 58.0	98 12.9	72 9.5
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役にたっていると感じられる	757 100.0	36 4.8	99 13.1	434 57.3	104 13.7	84 11.1
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	757 100.0	28 3.7	111 14.7	447 59.0	106 14.0	65 8.6
6.保険料・掛金は妥当である	757 100.0	29 3.8	93 12.3	469 62.0	95 12.5	71 9.4
7.保障は十分である	757 100.0	26 3.4	89 11.8	479 63.3	97 12.8	66 8.7
8.商品の説明や手続は分かりやすい	757 100.0	28 3.7	59 7.8	462 61.0	120 15.9	88 11.6
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる	757 100.0	33 4.4	94 12.4	461 60.9	108 14.3	61 8.1
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	757 100.0	33 4.4	70 9.2	461 60.9	112 14.8	81 10.7

Q28. あなたが保険・共済商品の提供企業についてお持ちのイメージをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10で「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1. 会社の経営が健全である	757 100.0	47 6.2	119 15.7	457 60.4	77 10.2	57 7.5
2. 企業理念に共感ができる	757 100.0	25 3.3	75 9.9	504 66.6	97 12.8	56 7.4
3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	757 100.0	41 5.4	155 20.5	451 59.6	60 7.9	50 6.6
4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	757 100.0	36 4.8	105 13.9	483 63.8	79 10.4	54 7.1
5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	757 100.0	42 5.5	128 16.9	466 61.6	74 9.8	47 6.2
6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	757 100.0	30 4.0	91 12.0	484 63.9	93 12.3	59 7.8
7. 契約者の声を大切にしている	757 100.0	31 4.1	82 10.8	502 66.3	86 11.4	56 7.4
8. 説明や手続に来る人が信頼できる	757 100.0	29 3.8	88 11.6	486 64.2	85 11.2	69 9.1
9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	757 100.0	27 3.6	74 9.8	481 63.5	106 14.0	69 9.1
10. 地場産業の発展に取り組んでいる	757 100.0	25 3.3	87 11.5	476 62.9	104 13.7	65 8.6
11. ボランティア活動に取り組んでいる	757 100.0	25 3.3	65 8.6	486 64.2	111 14.7	70 9.2
12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる	757 100.0	29 3.8	85 11.2	472 62.4	101 13.3	70 9.2
13. 文化振興に取り組んでいる	757 100.0	25 3.3	71 9.4	496 65.5	96 12.7	69 9.1
14. 防災・減災に取り組んでいる	757 100.0	26 3.4	90 11.9	486 64.2	97 12.8	58 7.7
15. 交通安全の推進に取り組んでいる	757 100.0	27 3.6	68 9.0	509 67.2	93 12.3	60 7.9
16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる	757 100.0	23 3.0	81 10.7	493 65.1	91 12.0	69 9.1
17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	757 100.0	30 4.0	97 12.8	481 63.5	86 11.4	63 8.3
18. 国民生活の向上に取り組んでいる	757 100.0	31 4.1	79 10.4	501 66.2	88 11.6	58 7.7

※ Q29については、エラーチェック用項目のため非掲載

Q30. あなたの年収（額面）をお選びください。（単一回答）

【Q1で「自営業」「会社勤務（正社員）」「会社勤務（契約職員、パート、アルバイト）」「その他」とした方のみ】

	n	%
全体	3075	100.0
100万円未満	321	10.4
100万円以上～200万円未満	353	11.5
200万円以上～300万円未満	457	14.9
300万円以上～400万円未満	502	16.3
400万円以上～500万円未満	411	13.4
500万円以上～600万円未満	299	9.7
600万円以上～700万円未満	198	6.4
700万円以上～800万円未満	162	5.3
800万円以上～900万円未満	94	3.1
900万円以上～1,000万円未満	86	2.8
1,000万円以上～1,200万円未満	75	2.4
1,200万円以上～1,400万円未満	25	0.8
1,400万円以上～	39	1.3
収入はない	53	1.7

Q31. あなたの世帯で、次の業種で収入を得ている方はいますか。あなた以外の方も含めてお選びください。(いくつでも)

	n	%
全体	3891	100.0
農業	91	2.3
水産業	18	0.5
(1) と (2) には該当しない	3783	97.2

性別 (単一回答)

	n	%
全体	3891	100
男性	1960	50.4
女性	1931	49.6

年齢 (回答は数字入力)

	n	%
全体	3891	100.0
20歳代	609	15.7
30歳代	713	18.3
40歳代	932	24.0
50歳代	820	21.1
60歳代	817	21.0

性別・年代別

	n	%
全体	3891	100.0
男性 20歳代	314	8.1
男性 30歳代	362	9.3
男性 40歳代	473	12.2
男性 50歳代	410	10.5
男性 60歳代	401	10.3
女性 20歳代	295	7.6
女性 30歳代	351	9.0
女性 40歳代	459	11.8
女性 50歳代	410	10.5
女性 60歳代	416	10.7

都道府県（単一回答）

	n	%
全体	3891	100.0
北海道	159	4.1
青森県	36	0.9
岩手県	37	1.0
宮城県	70	1.8
秋田県	25	0.6
山形県	31	0.8
福島県	53	1.4
茨城県	87	2.2
栃木県	59	1.5
群馬県	58	1.5
埼玉県	236	6.1
千葉県	196	5.0
東京都	475	12.2
神奈川県	293	7.5
新潟県	68	1.7
富山県	31	0.8
石川県	32	0.8
福井県	24	0.6
山梨県	25	0.6
長野県	61	1.6
岐阜県	60	1.5
静岡県	112	2.9
愛知県	239	6.1
三重県	52	1.3
滋賀県	42	1.1
京都府	78	2.0
大阪府	274	7.0
兵庫県	163	4.2
奈良県	40	1.0
和歌山県	26	0.7
鳥取県	16	0.4
島根県	20	0.5
岡山県	56	1.4
広島県	85	2.2
山口県	40	1.0
徳島県	20	0.5
香川県	27	0.7
愛媛県	37	1.0
高知県	20	0.5
福岡県	157	4.0
佐賀県	25	0.6
長崎県	37	1.0
熊本県	54	1.4
大分県	32	0.8
宮崎県	30	0.8
鹿児島県	47	1.2
沖縄県	46	1.2
国外	0	0.0